

代表事例:欠測の有無(日雨量データ)

・「近畿地方整備局 九頭竜川水系 対象洪水観測所日雨量表」(既存資料)に記載されている日雨量データについて、欠測の有無を調べた。

事例: S34. 9. 27洪水

近畿地方整備局 九頭竜川水系 対象洪水観測所日雨量表

凡例 : 欠測

	洪水		S	34.9.27											
	月	日	前日	武生(気)	今庄(気)	大野(気)	中島(気)	勝山(気)	朝日(気)	石徹白 (気)	池田(気)	大河内 (気)	大谷(気)	下一光 (気)	山口(気)
	9	1	-25												
		2	-24												
		3	-23												
		4	-22												
		5	-21												
		6													
		/	-19												
		8 9	−18 −17												
		10													
		11	-15												
		12	-14												
		13													
		14	-12												
		15													
		16	-10												
		17	-9												
		18	-8												
		19	-7												
1		20	-6												
1		21	-5												
1		22 23 24	-4												
		23	-3												
		24	−2 −1	00.0	05.0	74.0	105.0	70.0	J. 05 0	01.0	75.0	000		01.0	F40
		25 26		66.0	85.0	74.0	105.0 172.0	72.0	* 85.0 * 124.0	81.0	75.0 132.0	96.0 233.0	**327.0	31.0	54.0 115.0
L	- 1017+17+ V	26	0	99.0	135.0	150.0	172.0	77.0	↑ 124.0	170.0	132.0	233.0		101.0	115.0

欠測補填の状況:*欠測補填 **2日雨量のみ存在

日界:9時

日雨量データの欠測:88個※



代表事例: 日ズレ

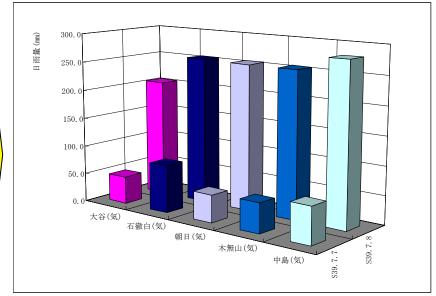
・「近畿地方整備局 九頭竜川水系 対象洪水観測所日雨量表」(既存資料)から、欠測が存在しなかった日雨量データについて、立体グラフを作成して近傍観測所の日雨量と比べて大きな差がないかを目視により調べ、日ズレ(日雨量が前日や翌日にずれて記載されていることをいう。以下同じ。)の可能性を調べた。

事例: S39. 7. 8洪水

欠測が無かった22観測所におけるS39.7.7,8の 日雨量データから、九頭竜川上流域の近傍5観 測所(赤囲み)を選択して立体グラフを作成した が、日ズレの可能性がある観測所は存在しな かった。

近畿地方整備局 九頭竜川水系 对象洪水観測所日雨量表

	洪水		S	39.7.8										
	月	П	前日	大野(気)	中島(気)	勝山(気)	朝日(気)	石徹白	池田(気)	大河内 (気)	大谷(気)	木無山 (気)	緑谷山(気)	
	6	14	-25											
		15 16	-24 -23											
		17	-23 -22											
		18	-22 -21											
		19	-20											
		20	-19											1
		21	-18											1 I
		22 23	−17 −16											I N
		24	-15											
		25	-14											
		26	-13											
		27	-12											
		28	-11 -10											
		29 30	-9											
	7	1	-8											<u> </u>
		2	-7											l <mark>/</mark> /
		3	-6 -5											1 /
		4 5	-5 -4											'
		6	-3											
		7	-2											
		8	-1	42.0		77.0		83.0	42.0	52.0	48.0	52.0	61.0	
L	~ 2014±14ε /	9	0	233.0	280.0	206.0	255.0	256.0	256.0	192.0	205.0	255.0	295.0	I
:	欠測補填(リ水沈	:*火冽	1	日雨量のみ	ナ什仕						日界:9時		



日ズレの可能性を調べた観測所

・日ズレの可能性がある観測所

のべ250箇所 0箇所



代表事例:欠測の有無(時間雨量データ)

・「近畿地方整備局 九頭竜川水系 対象洪水観測所時間雨量表」(既存資料)に記載されている時間雨量データに ついて、欠測の有無を調べた。

事例:S34.8.12洪水

様式1-9		C24 0 19	1	i	丘畿地方整備局	品 九頭竜川水	系 対象洪水額	閱測所時間雨量	量表		凡例 📙	:欠測
洪水 日	時	S34. 8. 12 大谷(気)	石徹白 (建)	木無山 (気)	中島(気)	大野(気)	緑谷山(気)	稲荷(気)	笹ヶ峰 (気)	武生(気)	福井(気)	<u>山</u> 口(気)
8月13日	10	0.0				3.5	18.0		31.0		1.8	大測
	11	4. 0			6. 0	5. 0	30. 0					欠測
	12	1.0		2.0	6.0	2. 5	8.0	6. 5	10.0	0.2	0.3	
	13	19. 5	8.0	14. 0	12. 5	8.0	23.0	8.5	6.0	0.0	0.5	
	14	7. 5	2. 7	6. 0	10.0	5.0	18.0		0.0	0.0	1. 7	大
	15	5. 0					32. 0	12.0				
	16	7. 0				5. 5	8. 0	6. 5				欠測
	17	6. 5				1. 5	3. 0				2. 1	大測
	18	0. 5		1. 0		0. 5	1. 0	0.0	9. 0		0.0	0. 1
	19	1. 5		1. 0		0.0	0.0					0. 1
	20	0. 5				0.0	2. 0	0.0	1.0	5. 0		0. 1
	21	0.0				0. 0	0. 0				0. 3	0. 1
	22	0.0		0.0		0. 5	0.0	0.0	0.0	0.1	0. 2	0. 0
	23	0.0				0.0	0.0				0.0	0. 1
	0	4. 0		3. 0		0. 5	2. 0		2.0		0. 4	0. 6
	1	8. 5				5. 0	9. 0	6. 0				2. 0
	2	5. 5		5. 0	8. 5							8. 8
	3	5. 0		5. 0	6. 0	6. 5	8. 0 7. 0	8. 0	6.0			5. 5
	4 5	6. 5		4.0			2. 0					8. 5
		1.5		1.0		12. 5		1. 5 8. 0	6.0	13. 2	3. 9 7. 9	
	6	5. 0		5. 0 7. 0		4. 5 6. 0	9. 0		19. 0 32. 0			3. 6 20. 6
	8	4. 0 9. 5		13. 0	12. 0 16. 0	19. 5	33. 0 17. 0					36. 2
	9	9. 5 5. 0				19. 5	10.0		4. 0	11. 0 1 Q	10. 8	28. 1
日合		107. 5		106.0		134. 0	251. 0			138. 2	125. 8	20. 1

時間雨量データの欠測:18個

<u>@</u>

雨量データの点検

代表事例:日雨量データと時間雨量データの比較

・日雨量データと時間雨量データの両方が観測されている観測所について、「近畿地方整備局 九頭竜川水系 対象洪水観測所日雨量表」(既存資料)に記載されている日雨量データと「近畿地方整備局 九頭竜川水系 対象洪水観測所時間雨量表」(既存資料)に記載されている24時間分の時間雨量データの合計値について、洪水ごとに日雨量を縦軸、24時間分の時間雨量データの合計値を横軸にプロットしたグラフを作成して、それらの間に大きな差がないかを調べた。

事例: S34. 9. 27洪水

日雨量データ

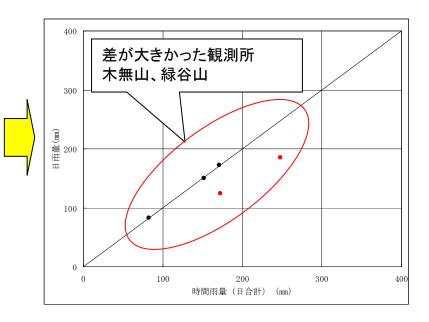
洪水		SS	34.9.27											
月	日	前日	武生(気)	今庄(気)	大野(気)	中島(気)	勝山(気)	朝日(気)	石徹白 (気)	池田(気)	大河内 (気)	大谷(気)	下一光 (気)	山口(気)
9	25	-1	66.0	85.0	74.0	105.0	72.0	* 85.0	81.0	75.0	96.0	**327.0	31.0	54.0
	26	0	99.0	135.0	150.0	172.0	77.0	* 124.0	170.0	132.0	233.0	TT327.0	101.0	115.0

ı	洪水		S34.9.27												
	月	Ш	前日	三国(気)	福井(気)	木無山 (気)	緑谷山(気)	北谷(気)	瀬戸(建)	織田(建)	中村(建)	下味見 (建)	松木(建)	田田 (計)	金津(県)
ſ	9	25	-1	40.0	66.0	85.0	78.0	* 74.0	**267.8	**54.8	65.0	* 75.0	* 66.0	* 66.0	* 54.0
ı		26	0	39.0	83.0	124.0	185 0	* 150.0	**207.8	**J4.0	137.0	* 132.0	* 83.0	* 99.0	* 115.0

時間雨量データ

洪才	(S34. 9. 27							
日	時	大谷(気)	木無山(気)	中島(気)	大野 (気)	緑谷山(気)	稲荷(気)	笹が峰(気)	福井(気)
9月26日	10	2.0	3. 0	3.0	1. 5	3.0	0.5		
	11	8. 5	7.0	5. 5	2. 5	3.0	5.0	3.0	2. 3
	12	1.0		1.0	8.0	6.0	1.0		1.6
	13	0. 5	0.0	1.0	0.0	1.0	5. 5		0. 1
	14	0.0	0.0	0. 5	0. 5	1.0	1.0		
	15	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.5		0.0
	16	1. 5	2.0	3. 5	0. 5	3.0	2.5		
	17	9. 5	8.0	9. 5	5.0	10.0	9.0		
	18	14. 0	9. 0	7.0	8. 5	18.0	7.0		
	19	10. 5	11.0	14.0	13. 5	13.0	11.0	26. 0	
	20	21.0	19. 0	20.0	20. 5	28.0	18. 5		
	21	26. 0	23. 0	19.0	18.0	26.0	16. 5		
	22	45. 5	29. 0	37. 5	29. 0	29. 0	15. 5		12. 9
	23	58. 5	28. 0	28. 5	18.0	39.0	8.0		
	0	11. 5	10.0	4.0	8. 0	16.0	4.0		
	1	1. 5	3. 0		3. 0	10.0	4. 5		
	2	0. 5	1. 0	2.0	3. 0	6.0	5.0		
	3	0. 5	6.0	3.0	6.0	8.0	5.0		
	4	0.0	2.0	2.0	4.0	8.0	4.0		1.8
	5	0. 5	3. 0	1.5	1. 5	7.0	4.0		
	6	0.0	2. 0	2.0	0. 5	4.0	0.5		0. 3
	7	1. 0		0. 5	0.0	2.0	0.5		
	8	0. 0	3. 0	1.0	0.0	3. 0	1.5		0. 2
	9	0. 5	1.0	0. 5	0.0	3.0	1.0		0.0
日合	計	214. 5	172. 0	171.0	151. 5	248. 0	131.5	241. 0	82. 1

S34.9.26の日雨量データと24時間分の時間雨量データの合計値の両方が観測されている5 観測所について、その差を確認した。



日雨量データと時間雨量データの両方が観測されている観測所

のべ122箇所

- ・日雨量データと24時間分の時間雨量データの合計値の間に大きな差がある観測所
- のべ 38箇所
- ・日雨量データと24時間分の時間雨量データの合計値の間に大きな差がない観測所

のべ 84箇所

▶ 雨量データの点検



・日雨量データと24時間分の時間雨量データの合計値の間に大きな差がある観測所は、自記紙(原資料)と照合し、 転記ミス及び自記紙の読み取りミス(以下、「転記ミス等」という。)の有無を調べた。

事例:S50.8.23洪水(福井観測所)

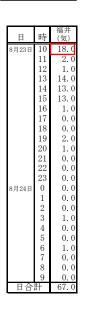
修正前

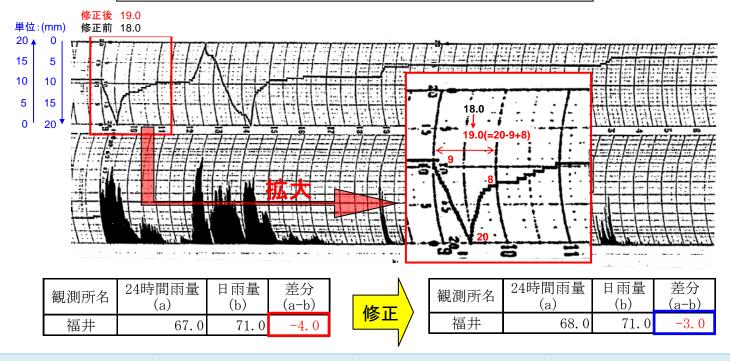
時間雨量観測自記紙(昭和50年8月23日9時~24日9時)

修正後

13. (

13.





日雨量データと24時間分の時間雨量データの合計値の間に大きな差がある観測所

原資料から読み取った値により修正した観測所

原資料の値が読み取れない観測所

のべ38箇所

のべ 7 箇所

のべ31箇所



流量データの点検

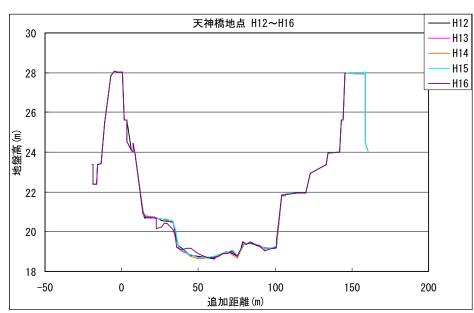
代表事例:H-Q式の確認

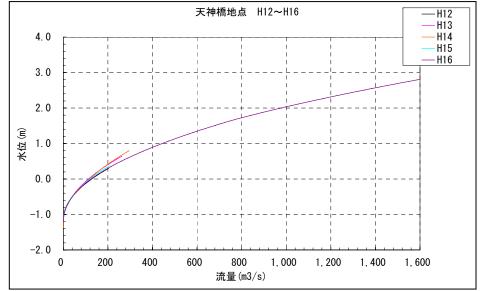
・「水位流量曲線図」(既存資料)に記載されている観測所のH-Q式について、同一観測所における5年分のH-Q式を重ねてグラフを作成した。また、「横断面図」(既存資料)に記載されている観測所の横断面図について、同一観測所における5年分の横断面図を重ねてグラフを作成した。これらのグラフから、断面の経年的な変化とH-Q式の経年的な変化に不規則性が大きいと考えられる観測所の有無を調べた。

事例:H12~H16 天神橋観測所横断面図およびH-Q式



年度	H-Q式									
H12	Q =	97.93	(H +	1.14) 2					
H13	Q =	75.87	(H +	1.22) 2					
H14	Q =	63.41	(H +	1.36) 2					
H15	Q =	87.53	(H +	1.17) 2					
H16	Q =	97.77	(H +	1.13) 2					





観測所横断面図より断面変化が僅かであること、H-Q式より変化が僅かであることから、不規則性が大きいと考えられなかった。

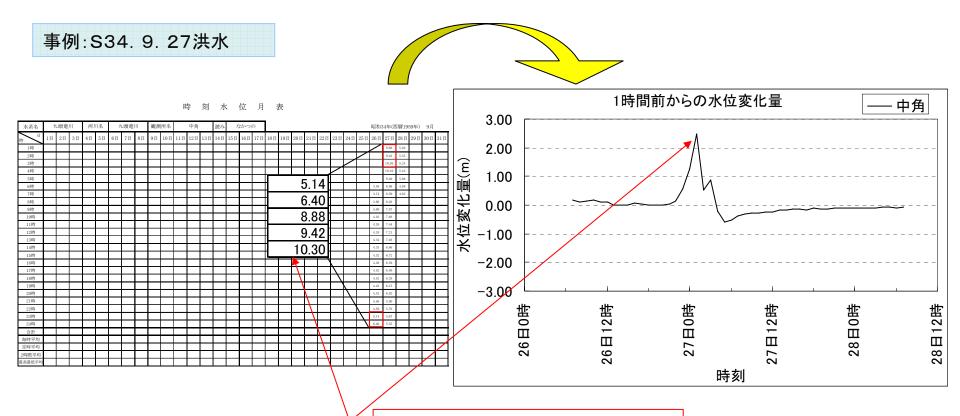
断面の経年的な変化とH-Q式の経年的な変化の不規則性を調べた観測所・断面の経年的な変化とH-Q式の経年的な変化に不規則性が大きいと考えられる観測所

のべ9箇所 0箇所



代表事例:急激な水位上昇の確認

・「水位月表」(既存資料)に記載されている時刻水位を用いて1時間前からの水位変化量のグラフを作成し、急 激な水位上昇の有無を調べた。



中角観測所において急激な 水位上昇が認められた

急激な水位上昇の有無を調べた観測所

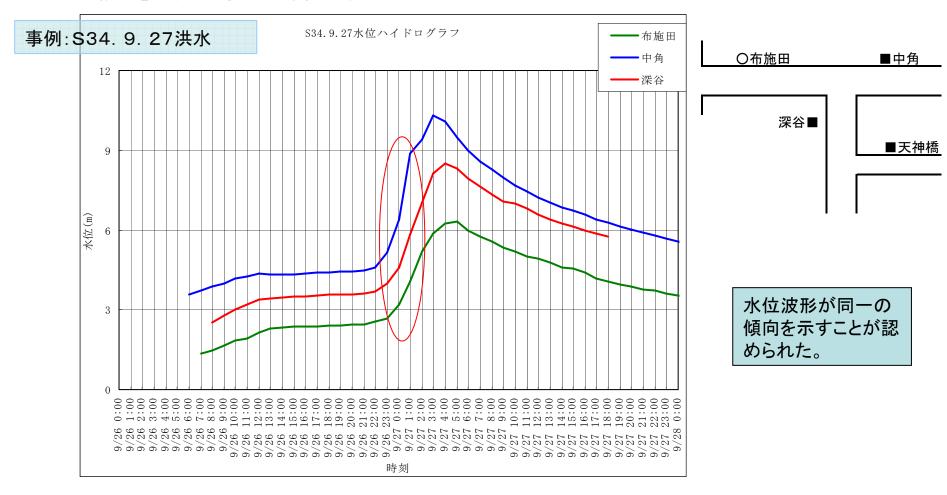
- ・急激な水位上昇が認められない観測所
- 急激な水位上昇が認められる観測所

のべ25箇所 のべ23箇所 のべ 2箇所

▶ 流量データの点検



・水位の急激な上昇が認められる観測所について、上下流観測所の水位波形を一つのグラフに描き、水位波形 が同一の傾向を示すか目視により調べた。



急激な水位上昇が認められる観測所

・水位波形が同一の傾向を示すことが認められた観測所

のべ2箇所 のべ2箇所